

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【公開番号】特開 2000-122864 (P2000-122864A)

【公開日】平成 12 年 4 月 28 日 (2000.4.28)

【出願番号】特願 平 11-288062

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/30 (2006.01)

G 0 6 F 9/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/30 3 5 0 F

G 0 6 F 9/38 3 1 0 X

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ処理コア (3 0 , 3 2 , 3 4 , 3 6) 及び命令システム (2 4) を有するデータ処理システム (1 0) であって、前記命令システム (2 4) が前記データ処理コア (3 0 , 3 2 , 3 4 , 3 6) により実行されるべき処理を選択する処理選択フィールドを有する命令ルートを備える、前記データ処理システム (1 0) において、

命令プレフィックスが複数のフィールドから選択可能な少なくとも 1 つのフィールドに適応するのを可能にするための選択可能な長さを有する前記命令プレフィックスを備えることを特徴とするデータ処理システム (1 0) 。

【請求項 2】

前記選択可能なフィールドのうちの 1 つが、条件付き実行フィールドであり、

前記命令ルート及び前記命令プレフィックスが、命令を備え、

前記データ処理コア (3 0 , 3 2 , 3 4 , 3 6) による前記命令の実行が、前記命令プレフィックスの前記条件付き実行フィールドに基づいて条件付けられる
 請求項 1 記載のデータ処理システム (1 0) 。

【請求項 3】

前記命令が、2 以上の命令ルートを含む請求項 2 記載のデータ処理システム (1 0) 。

【請求項 4】

2^m 個のレジスタの 2^n 個のバンクを更に備え、

前記命令プレフィックスが、前記 2^m 個のレジスタの 2^n 個のバンクのうちの 1 つのバンクを選択する幅 n のレジスタ・バンク選択フィールドを有し、

前記命令ルートが、前記 2^n 個のバンクのうちの前記選択されたバンクの中の 2^m 個のレジスタのうちの 1 つを選択する幅 m のレジスタ選択フィールドを有する

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のデータ処理システム (1 0) 。

【請求項 5】

前記処理選択フィールドが、第 1 の長さを有するオペランド上で実行されるべき処理を選択するよう構成されており、

前記命令プレフィックスが、第 2 の幅を有するオペランド上で実行されるように前記の選択された処理を変更するためのオペランド幅変更フィールドを有する

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のデータ処理システム (1 0)。

【請求項 6】

前記命令プレフィックスが、1つの群を構成するよう複数の前記命令ルートを選択するための命令群フィールドを有し、

前記データ処理コアが、前記群により選択された全ての処理の実行を同時に開始する
請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のデータ処理システム (1 0)。

【請求項 7】

前記データ処理コア (3 0 , 3 2 , 3 4 , 3 6) が、第 1 及び第 2 のタイプの処理を順次に且つ複数の前記第 1 のタイプの処理を並列に実行するよう構成されており、

前記処理選択フィールドが、前記データ処理コア (3 0 , 3 2 , 3 4 , 3 6) により実行されるべき前記第 1 及び第 2 のタイプの処理のうちの 1 つを選択するよう構成されており、

前記処理選択フィールドが、幅 n のタイプ・サブフィールドを有し、

前記 n の値には、

前記第 1 タイプの処理を順次に実行する場合は第 1 の値が割り当てられ、又は

前記第 1 タイプの処理を並列に実行する場合は第 2 の値が割り当てられ、又は

前記第 2 タイプの処理を実行する場合は残りの ($2^n - 2$) 個の値から選択された第 3 の値が割り当てられる

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のデータ処理システム (1 0)。

【請求項 8】

前記データ処理コア (3 0 , 3 2 , 3 4 , 3 6) が、第 1 及び第 2 のタイプの処理を順次に且つ複数の前記第 1 のタイプの処理を並列に実行するよう構成されており、

前記処理選択フィールドが、前記データ処理コア (3 0 , 3 2 , 3 4 , 3 6) により実行されるべき前記第 1 及び第 2 のタイプの処理のうちの 1 つを選択するよう構成されており、

前記処理選択フィールドが、タイプ・サブフィールドを有し、

前記タイプ・サブフィールドが、

順次に実行されるべき前記第 1 タイプの処理に関しては第 1 の値を、又は

並列に実行されるべき前記第 1 タイプの処理に関して、および順次に実行されるべき前記第 2 タイプの処理のうちの少なくとも 1 つの選択された処理に関しては第 2 の値を有する

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のデータ処理システム (1 0)。